

島根県地域医療支援会議 医師専門研修部会の開催状況について

- 1 開催日時 令和元年8月7日(水) 16:00~18:00
 2 開催場所 島根県医師会館 外 (島根県医師会テレビ会議システム)
 3 出席委員 18名 (委員16名、代理出席2名)
 4 議 事

(1) 平成31年度プログラムの改善要望(研修施設の追加)への対応状況

麻酔科 【島根大学】益田赤十字病院 … 令和2年度プログラムに追加申請済
整形外科 【島根大学】隠岐病院、大田市立病院、玉造病院 … 今後検討
 【中央病院】隠岐病院、大田市立病院 … 島大と今後調整

(2) 平成31年度 専攻医の採用実績等

年度	総数	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハ科	総合診療	
H30	37	12	2	1	1	3	5	3	1		2	1	3	2	1						
H31	44	19	3	2	2	4	1	2			0	1	1	3			3				3

(3) 令和2年度 専門研修プログラムの検証

基幹施設のプログラムに関し、研修連携施設のない圏域や、病院が担っている機能を踏まえ、可能な限り早期に次の施設を連携施設に追加するよう基幹施設へ改善を要請。

整形外科 【島根大学】隠岐病院、大田市立病院、玉造病院、西部島根医療福祉センター
 【中央病院】隠岐病院、大田市立病院、西部島根医療福祉センター

(4) 制度改善に関する国への意見

① 都道府県別・診療科別の専攻医募集定員のシーリング【新規】

都市部に専攻医が集中しており、都道府県別・診療科別の研修定員の設定が必要であるが、提示された令和2年度シーリング案は、島根県では医師高齢化を背景に養成が急がれる精神科、リハビリテーション科も対象となるなど、地方の医師不足が慢性化している状況が考慮されていない。

このため、広大な県土に対し医師の絶対数が少数の島根県にはシーリングを設けないなど、現実的な設定がなされるようにすること。

② 総合診療専門医制度の改善【継続】

地域医療の担い手として期待される総合診療専門医の専門研修プログラム整備基準において、サブスペシャリティが不明確であることから、早期にサブスペシャリティを明確化すること。

【日本専門医機構の対応状況(シーリング)】

- 過去2年にわたり専攻医の採用が5人未満と極めて少ない県・診療科にも「5人」というシーリングが設定されたが、実態にそぐわないため、シーリングを設けないこととされた。島根県では、いずれの診療科もこの条件に該当するため、令和2年度のシーリングは除外された。
- なお、医師少数区域等に従事要件のある自治医や地域枠医師は、地域医療支援会議の承認を条件にシーリングの枠外とするよう要件が緩和された。